

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第29回助成事業 審査講評

### まちづくり活動部門

#### 【3回目応募グループ】

##### <4-1 ピンクシャツデーNIPPON>

- ・今回は3回目の応募となりましたが、昨年の感染症拡大により、イベント開催が出来ない中でも、インターネットを活用する等の工夫で乗り切られ、着実に活動を積み重ねられました。また新たな団体ともつながり、ネットワークを広げられ、今後更なる活動の広がりが期待出来ると感じました。

##### <4-2 認知症おうちカフェ★キラリ会>

- ・参加者に高齢の方が多く、オンラインとリアルを組み合わせる活動を行っていること、「見守り隊」といった今必要な活動が生み出されていること、コロナ禍でできることを工夫して活動を続けてきたご苦労が伝わりました。この活動をどのように継続していくことができるのか、事業性を念頭に新たな活動展開に示されていたチャレンジに大変期待しています。

##### <4-3 下北沢 リンク・パーク>

- ・緊急事態宣言以外の期間、週末を中心に60回ほど開催されたことにまず敬意を表します。「移動式ファニーチャーによる低未利用地の広場化」は全国各地の中心市街地においても参考になる好事例であり再開発が進む下北沢においても柔軟に対応し更に新たな事例を生み出していくことを楽しみにしています。また、今年度検討されている資金調達面でのチャレンジは大事なことだと思いますので成功を期待します。

#### < 4-4 おでかけサポーターズ >

- ・コミュニティバス運行は難しい事業ですが、先行事例を研究され、関係者に共有しながら着実に進めていらっしゃいます。今年度はいよいよボランティアを募り、テスト運行を開始する計画となっております。これにより、地域の皆さんがコミュニティバスについて関心をより高め、応援して下さる方がさらに増えていく好循環が生まれることが、次年度以降自立して事業を持続させていくためにも極めて重要だと思います。そのためにも、事業そのものをうまく進めることと同じくらい、積極的な広報活動に務めていただくことも大切だと思います。

#### < 4-5 0歳からの音楽会実行委員会 >

- ・ご活動については実績も安定感もあり、素敵なお取り組みであると感じております。その上で今回の申請では、動画制作やHP等にかかる予算が大きく、費用対効果についての疑問がありました。既にはじめておられるので痛感しているところかもしれませんが、Youtubeで視聴者を得ることは簡単なことではありません。また、既にコンテンツが溢れており、そこでの取り組みに多大なリソースを注ぐ動画配信者が山ほどいるところで、外注してまで動画を作ったり配信したりすることが、同じ予算や手間を使って別のことをするのに比べて効果的なのかどうなのか、ひとしきりやられてみた後に、検証してみることが必要と思います。

#### < 4-6 アニメーション トイ >

- ・小さな子どもを抱える一人の親として、また、自分自身が小児喘息で長期の辛い時期を送った者として、本団体の活動は大変意義深い取り組みだと考えます。ただ、今回申請いただいた応募用紙およびプレゼンテーションは、同団体自身が主体となり実施する活動と他団体への協力活動が混在しており、今年度の活動で何が成果としてもたらされるのかが明確に判断できず、助成額を減少せざるを得ませんでした。難病に悩む子どもたちに楽しい時間を届け、一人でも多くの子どもたちの健やかな成長につながることを期待します。